



躍動感あふれる舞で観客を魅了した「権現舞」

活躍光る 葛高生

第6回高校生の神楽甲子園は7月23日、24日の2日間、広島県安芸高田市の神楽ドームで行われ、葛巻高校の郷土芸能部、角地美桜部長、部員10人が出場しました。

神楽甲子園には中国・九州地方を中心に15校が出場。このうち東日本からの出場は葛巻高校と伊保内高校（九戸村）のみ。4年連続の出場となる今回の舞台では葛巻神楽の「鶏舞」と「権現舞」の2演目を披露。約1800人の観衆が見守る中、躍動感あふれる演舞を披露し、会場を沸かせました。

同部は、はつらつとした立ち居振る舞いによる神楽上演と大会運営に献身的に協力した功績が認められ、広島県知事から「神



民泊先の地域の方々とも交流を深めた（安芸高田市美土里町北振興会の皆さん）

神楽甲子園に4年連続出場の郷土芸能部 大舞台で堂々、躍動の舞

楽伝承奨励賞」として表彰されました。

本番前の7月15日には総合センターで壮行会が行われ、多くの町民の前で練習の成果を披露。鈴木重男町長が「町に伝わる芸能文化を継承・発展させていってほしい」と激励した。

連続出場は町にとって名誉なこと。1年生が入部してから短期間で、立派な舞に仕上がっている」と練習の頑張りをたたえました。

■出場したメンバー（敬称略）

- ▽3年 若澤美南、角地真桜、角地美桜
- ▽2年 遠藤大樹、日廻灯、六角優希
- ▽1年 上川原一輝、石木安優、木ノ下春菜、山本万葉



出場壮行会で生徒たちを激励した鈴木町長

仲間と喜び共感、精一杯の舞

踊り手リーダー
日廻 灯さん（2年）

過去最高の来場者数で、昨年以上に緊張しましたが、お客さまの温かい声援に励まされました。大きな舞台に立てる喜びを、部の仲間と分かち合い、精一杯、伸び伸びと舞うことができました。



温かい声援が大きな力に

お囃子リーダー
角地 美桜さん（3年・部長）

広島の方々の温かい拍手と声援に、とても感動し、大きな力になりました。10月の県高校総合文化祭では、広島での学びと声援を糧に、全国大会出場を目指して頑張ります。



姉妹町村

葛巻町

沖縄県
北中城村



かりゆしを着用し、町議会7月定例会議に出席した町三役と議員、町職員ら

より一層の友好へ気持ち新たに

町議会7月定例会議が7月1日から6日まで行われ、初日の1日、一般質問のあった4日、最終日の6日の3日間、10人の議員と町当局の出席者全員が「かりゆし」を着用し、議事に臨みました。

姉妹町村である沖縄県北中城村との友好の絆を深めようと、中崎和久議長が提案し、ほかの議員と鈴木重男町長らが賛同。初めて実施され、議場は華やかな雰囲気になりました。

かりゆしは、沖縄の方言で「めでたい」「自然との調和」などの



鈴木重男町長

人的、物的な交流が年々深まっていることをうれしく思う。今回の議会では全員がかりゆしを着用した。北中城村をさらに身近に感じ、また、これまでの長い間の交流の中で親戚関係を強く感じる。今後においても両町村の絆をさらに深め、永続発展に努めてまいります。



中崎和久議長

意味を表し、アロハシャツに似た明るい花柄などがデザインされ、沖縄県では知事をはじめ地方自治体の大部分で着用されています。

町議会への出席者全員が、かりゆしを購入したほか、同村議会から、町三役と全議員にかりゆしが贈呈されました。町議会では、さらに友好をアピールするため、今後も着用を継続する予定です。

同村とは、平成元年に姉妹町村の盟約を締結。中学生の相互訪問や職員の交流、物産やスポーツの交流などに取り組んでいます。

